

# 第3章 わがまち緑区



H25年度「もち焼き」  
撮影者…正岡俊彦  
撮影場所…鶴見川鴨居橋下河川敷



H26年度「はす池氷結」  
撮影者…篠原勝清  
撮影場所…寺山町四季の森北口はす池前

冬



H29年度「虹をかける」  
撮影者…子安康博  
撮影場所…十日市場町消防訓練場



H26年度「雪の日の河川敷散歩」  
撮影者…持永和俊  
撮影場所…恩田川と鶴見川の合流地点



H29年度「秋の華」  
撮影者…佐々木純一  
撮影場所…中山町杉山神社



H25年度「新治谷戸の稲刈り」  
撮影者…三浦孝悦  
撮影場所…新治旭谷戸

秋



H25年度「新治の秋色」  
撮影者…宮崎力  
撮影場所…新治市民の森



H28年度「晩秋の散歩道」  
撮影者…中村進  
撮影場所…四季の森公園



# 緑区フォトコンテスト作品集

緑区の自然や街並み、活動など、今の緑区の姿を記録として将来に残していくため、広く写真を募集するフォトコンテストを平成24～29年度に実施しました。「将来に残したい緑区の姿」として入賞・入選された写真の一部を四季別に紹介します。



H26年度「満開の木の下で」  
撮影者…水元亜紀雄  
撮影場所…鴨居駅前桜並木



H26年度「富士山と横浜線」  
撮影者…三浦富雄  
撮影場所…東本郷町（鴨居駅付近）

## 春



H27年度「満開の桜と輝く寺院」  
撮影者…清水勝昭  
撮影場所…光照山萬蔵寺



H26年度「子供達の手作り鯉のぼり」  
撮影者…菅沼勝利  
撮影場所…鴨池人道橋

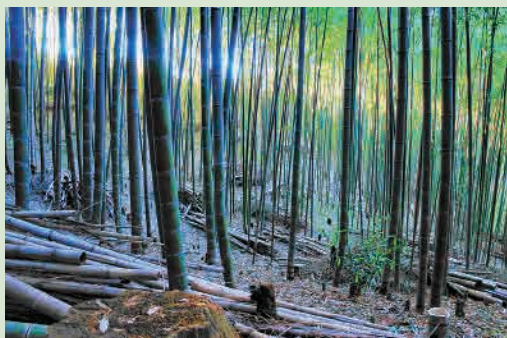


H24年度「森がくれたもの」  
撮影者…小柳瑠花  
撮影場所…新治市民の森



H24年度「みんなで田植え」  
撮影者…大谷元  
撮影場所…新治市民の森の谷戸田

## 夏



H24年度「新治市民の森の竹林」  
撮影者…諺澤健司  
撮影場所…新治市民の森



H29年度「舞降りる平和の使い」  
撮影者…大塚英夫  
撮影場所…小山町観護寺近く



# 緑区の伝統文化・民俗

## 回り地蔵

回り地蔵（廻り地蔵ともいう）は江戸時代から続く風習ですが、現在は神奈川県内では緑区白山のほか、泉区下飯田と都筑区池辺町、港北区新羽町の計4か所のみで行われています。平成25年には横浜市無形民俗文化財に指定されています。

子どもを護り救う仏と信じられている地蔵をずし子に入れ、背負いながら各家を持ち回ります。白山地区の「回り地蔵」は1つの家庭に1週間から10日間程度、他の地域では1か月程度、その家がお供えをしてお地蔵様の世話をします。



## ドンド焼き

ドンド焼きは、お正月の神祭に用いた材料を燃やすことで年神を空に送り、その年の招福や厄払いを願うものです。地域によってはドンドン焼きやサイト払いなどさまざまな呼び方があります。

また、この火で焼いた団子を食べると健康でいられ、書初めなどを燃やすと上達するといわれています。



## カセドリと寺山の短冊

カセドリとは、年の変わり目などに家々を訪問し、その土地に祝福と豊穰をもたらすとされる来訪神行事です。緑区では小正月になると仮装した子どもたちがミニチュアの農具を持って地域の各家を回っていました。その中でも寺山地区では珍しく、短冊に俳句を書いて持ち回っていました。

緑区では大正初期まで寺山地区や川和地区でカセドリが行われていました。



神奈川県立歴史博物館所蔵

## 長津田囃子・西八朔囃子・ 鴨居囃子・寺山はやし・梅田囃子

地域の行事や祝い事の際に演奏し華を添える、人々の生活に寄り添ったお囃子。現在でもお囃子文化を継承し、技術を高めることを目的に各地区で保存会が活躍しています。



撮影者：岩間 茂次

## 地神講

五穀豊穡などの祈りを込めて、農家では同一の信仰を持つ人々による結社である「講」で地神を祀る風習があります。年2回、彼岸の中日の春分の日と秋分の日には、地神様が土から出られるとされ、畑仕事を休んでお日待（日の出を待って夜明かしをすること）をします。この際に「ヤド」と呼ばれる当番の家には地神様の掛け軸が持ち回られます。



## 花籠の舞

参勤交代のため鎌倉街道を大名行列が通る際に、槍の舞が行われました。この槍の舞を表現して、「花籠の舞」として引き継がれています。

舞では4つの花籠が1組となって華やかに花が乱舞します。この伝統をいつまでも残すために、中山町では平成12年から「子ども用花籠」も新たに始めました。



## 緑区音頭

緑区の地域連携を深めるとともに、区の活性化を図ることで区全体のイメージアップをすることを目的に、平成9年に作られました。

作曲は歌手の山本譲二さん、歌詞は区民公募の中から選考委員会で決定しました。



### 【参考文献】

『横浜「緑区史」』昭和61年12月発行 緑区史刊行委員会発行  
『わが町の昔と今 緑区編』平成15年1月発行 岩田忠利 著



# 地域のいこい 緑区の公園

## 緑区の公園と愛護会

横浜市内には公園が2,600か所以上あり、面積は横浜スタジアムの約600個分に相当します。

公園には、遊び場として整備された公園や運動広場、植物や動物など自然に近い公園など、用途に応じたさまざまな種類があります。

一方、誰もが集い、憩い、楽しむために作られた公共の場所であるとともに、地震が発生した際、自宅が危険な状態な時に避難する「いっとき避難場所」という役割も担っています。

横浜のほとんどの公園では、公園愛護会が結成されており、公園の清掃活動などを行っています。令和元年8月現在、緑土木事務所では、5種類、148公園を管理しています。そのうち136公園で愛護会が結成されています。(総面積440,164㎡)



### 緑区の公園

※緑土木事務所が管理している公園

種類	概要	公園数	面積 (㎡)	愛護会数
街区公園	家から歩いて行ける距離にある砂場やブランコなどがある身近な公園。	136	263,421	126
近隣公園	街区公園より大きく、広場などを備えた公園。	8	117,980	8
地区公園	近隣公園より大きい公園 (区内)	1 (霧が丘公園)	39,860	1
緑道	遊歩道が整備され、四季折々の花を眺めながら散歩できる公園。	2 (長津田みなみ台緑道・中山北緑道)	17,205	2
都市緑地	良好な自然環境や景観の保全をするための緑地	1 (長津田町緑地)	1,698	0



街区公園 (十日市場石田公園)



近隣公園 (萱場公園)



緑道 (長津田みなみ台緑道)

### 区内にあるその他の種類の公園

- 運動公園 (長坂谷公園)
- 総合公園 (新治里山公園、玄海田公園)
- 風致公園 (北八朔公園、県立四季の森公園)

## 緑土木事務所で行っている公園の維持管理

緑土木事務所が管理している公園について、愛護会に関すること、利用マナーに関すること、施設の補修、改良工事、樹木の剪定・刈込、草刈などの対応を行っています。

### 定期的に行っていること

草刈・刈込	一定の広さがある公園について、草刈（年1～2回程度）、ツツジ類を中心とした刈込（年1回程度）を実施しています。
樹木の剪定	3年に1回程度実施しています。
施設点検	年4回、公園の施設・遊具点検を実施しています。そのうち年1回は詳細な遊具点検を実施しています。
改良工事	ブランコや鉄棒などの鋼製遊具は設置から15年を経過したあたりから、木製遊具は設置から10年を経過したあたりから、状況を見ながら順次交換しています。出入口や水飲みのバリアフリー対応、広場の排水改良、柵の再塗装などは状況や予算に応じて実施しています。



施設点検



改良工事

## 公園愛護会とは

横浜市の公園愛護会制度は、全国に先駆けて昭和36年に創設されました。現在では全国多くの都市で同様の制度が導入されています。

市民の憩いの場である公園の管理、活用に関して、地域においてその中心的な役割を果たす団体として、公園周辺の住民の皆さんが公園愛護会を結成しています。横浜市では約9割の公園で愛護会が活動しています。



### 公園愛護会の活動

愛護会の活動は、公園の利用など地域の活性化や地域のまちづくりに大きく貢献しています。公園清掃に加え、花壇の設置やイベント企画、マナー指導、公園の見守り活動など、区民に公園を安心して利用してもらえるような取組をお願いしています。





# 緑区遺産



緑区遺産とは、区内に現存する有形の歴史的・自然的・文化的資源で、その価値が地域に認められているものです。

令和元年10月1日時点で、18か所が登録されています。緑区で活動している団体の皆さんによる新規の登録を募集しています。

詳しくは

緑区遺産

検索

## ① 緑新栄会界隈

昭和40年代頃から形成された、昭和の雰囲気を残す飲み屋街です。レトロな街並みや看板、狭く入り組んだ道などが雰囲気をづくり出しています。



## ② 久保谷戸 お滝様



かつては水が流れていた滝で、文政4年の大かんばつの際には祈願成就したと伝えられています。今もこの地域を見守っています。

## ③ 東本郷第一公園からの山岳展望



冬の晴れた日などには、富士山、北岳、間ノ岳の国内標高上位三つの山を見ることが出来ます。年2回(2月・10月)ダイヤモンド富士も見られます。

## ④ 白山神社の碑

昭和12年1月に竣成された社殿の記念碑として撰書。白山神社が関東大震災などで荒廃したこと、それを地域が再興したこと、当時の神域に対する畏敬の念などが記されています。



## ⑤ 鴨居杉山神社の絵馬



160年以上前に奉納され、現在は鴨居杉山神社奉賛会に保存・管理されています。通常は非公開ですが、正月1日～3日、杉山神社祭礼や七五三の際に公開しています。

## ⑥ ごはん塚



「鶴ヶ峰の合戦」において、畠山重忠が北条氏に敗れた際、深谷に逃げ戻る途中の郎従が北条氏の追撃により討ち取られた地です。名前の由来については諸説あります。

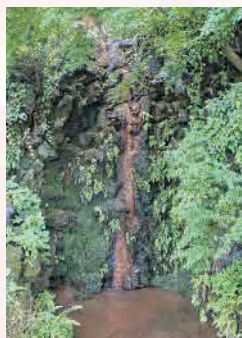
## ⑦ 鴨居原辻山の庚申塔



鴨居駅から鴨居原遺跡を通り上菅田、羽沢、和田へ通じる道と、小机から白根、長津田に通じる道の交差点に建てられた庚申塔で庚申信仰の象徴となっています。

## ⑧ 奇利吹の瀧

林光寺参道右側にあり、信仰者がこの滝に打たれて修行・祈願したといわれています。境内からは、都筑区方面の眺めも良く、桜や藤の花が素晴らしいです。



## ⑨ 恩田川の念仏橋跡



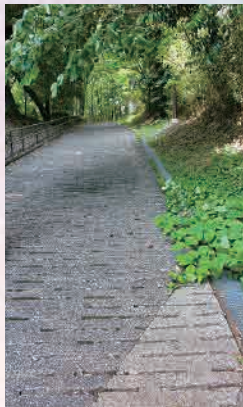
小山橋は、以前は「念仏橋」と呼ばれていました。室町時代に、観護寺の住職であった印融法印が托鉢の往来のため、土橋を建設したのが始まりと伝えられています。





**10 念珠坂**

梅田の坂下から三保念珠坂公園等に入る坂です。榎下に抜ける古道のひとつで、狭く急な坂道に苦勞したことが偲べれます。



**11 餅塚**

上の原公園内にある塚で、老婆が脇で餅を売っていたと言われることが地名の由来ともいわれています。眺望もよく、桜が満開になる春はとてよい景観が見られます。



**12 高尾山**

区内で最も高い山で標高は100.46mあります。山頂には、養蚕の神様「飯縄(いづな)神社」が祀られ、大山・丹沢・富士・箱根・秩父方面の眺望が素晴らしいところです。



**13 横浜線の岩川橋梁**



横浜鉄道(現JR横浜線)に架かる石積橋梁です。関東大震災にも耐えるほどの強度を持ち、横浜鉄道開業から100年以上経った今も現存する数少ない近代土木遺産です。

**14 旧大道と神奈川道分岐の道標**



旧大道と十日市場方面へ分岐するところにある道標です。当時の交通標識の類のもので、大道や神奈川宿などに行き交う人々の案内となっていたと言われています。

**15 山田右京之進城址碑**

三保町の久保山旧城寺は山田右京之進の居城といわれています。昭和初期に神奈川県下名勝史蹟四十五佳選に当選し、記念碑として贈呈されました。



**16 杉沢堰**



梅田川にある堰で、昭和初期では貴重なコンクリート製でした。景観上貴重な土木産業遺構として、横浜市の歴史的建造物にも登録されています。

**17 神明谷戸 お滝様**

梅田川に築かれた灌漑用水の取水堰に祀られている水神像です。三保町神明谷戸地区での稲作で不可欠な水が絶えぬ事を祈っています。



**18 大道道標**

幕末に梅田講中によって建てられた庚申塔です。大道へ進む人が農地で行き止まりとなっている道と間違えないための道標となりました。

